

Petromax HK500の メンテナンスマニュアル Maintenance manual for HK500

分解編

Petromax圧力式灯油ランタンHK500を 長く安全にご使用頂くために

このマニュアルには、200以上の部品から構成されるPetromax HK500をご自身でメンテナンスして長く安全にお使いいただくための分解手順を掲載しており、初めての方でもこのマニュアルに沿って作業を進めることでHK500の構造を確認しながら安心して分解作業を実施していただくことができます。

また次の【組立編】では各部パーツの状態を確認し、必要に応じてパーツをメンテナンスしながら組立作業を行いますのでまずはこの【分解編】でPetromax HK500の構造とパーツを理解していきましょう。

- 1 タンク(#118)から圧力計付き注油口キャップ(#149)を反時計回りで取り外します

入手可能パーツ：[圧力計付き注油口キャップ \(#149\)](#)



- 2 圧力計付き注油口キャップ(#149)の内側の注油口キャップ用ゴムパッキン(#11)を取り出します

入手可能パーツ：[注油口キャップ用ゴムパッキン \(#11\)](#)
[圧力計付き注油口キャップ \(#149\)](#)



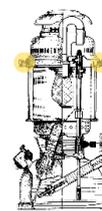
- 3 専用ジョウゴ(#65)を使ってタンク(#118)の燃料を抜きます

入手可能パーツ：[ジョウゴ \(#65\)](#)



- 4 両サイドのビスを緩めサポートフレーム(#121)についているハンドル(持ち手)を外します

入手可能パーツ：[サポートフレーム \(#121\)](#)



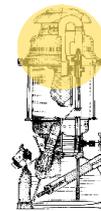
5 | ヘッドカバー (#123) を引き上げます

入手可能パーツ: [ヘッドカバー \(#123\)](#)



6 | インナーチムニーコンプリートを
引き上げ、取り出します

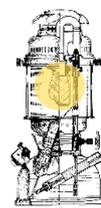
入手可能パーツ: [セラミックノズル \(#3\)](#)
[スラフトスクリューバー式 \(#20,#21,#22\)](#)
[ミキシングチューブ \(#33\)](#)
[ガスチャンバー \(#34\)](#)
[インナーチムニー \(#117\)](#)



7 | マントル (#4) を取り除きます

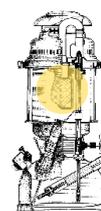
※灰化したマントル (#4) は大変もろく、破れて飛散しやすいため
タオル等で包み込むように壊し、取り除きます

入手可能パーツ: [マントル \(#4\)](#)



8 | ミキシングチューブ (#33) からセラミックノズル (#3)、
ガスチャンバー (#34) の順に取り外します

入手可能パーツ: [セラミックノズル \(#3\)](#)
[スラフトスクリューバー式 \(#20,#21,#22\)](#)
[ミキシングチューブ \(#33\)](#)
[ガスチャンバー \(#34\)](#)
[インナーチムニー \(#117\)](#)



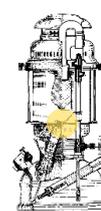
9 | サポートフレーム (#121) からホヤガラス (#74) を
引き上げ、取り外します

入手可能パーツ: [ホヤガラス \(#74\)](#)
[サポートフレーム \(#121\)](#)



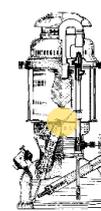
10 | 中央のセンタースクリュー (#14) を
マイナスドライバーで取り外します

入手可能パーツ: [センタープレート \(#122\)](#)
※センタースクリュー (#14) とのセットです



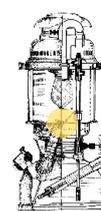
11 | 予熱カップ (#35) を引き上げ、
取り外します

入手可能パーツ: [予熱カップ \(#35\)](#)



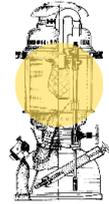
12 | センタープレート (#122) の穴に千枚通しなどを
差し込み、引き抜くようにして取り外します

入手可能パーツ: [センタープレート \(#122\)](#)
※センタースクリュー (#14) とのセットです



- 13 サポートフレーム(#121)全体を持ち、
引き上げながら取り外します

入手可能パーツ：[サポートフレーム \(#121\)](#)



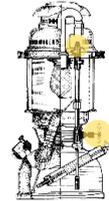
豆知識

サポートフレームを取った後は…
タンク(#118)上部に点灯中に入り込んだ
虫が溜まるので、こまめに掃除しましょう



- 14 グリップホイール(#111)の矢印を下向きにして
クリーニングニードル(#68)を沈ませ、
ニップル(#50)にしまい込みます

入手可能パーツ：[ニップル \(#50\)](#)
[クリーニングニードル \(#68\)](#)
[グリップホイール \(#111\)](#)



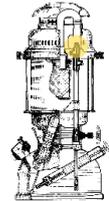
次の手順の前に確認しましょう

ニップル(#50)を取り外す際、ニップル(#50)から
クリーニングニードル(#68)の針が出ていると
針が折れるなど破損の原因につながります



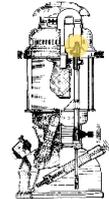
- 15 付属の専用スパナ(#66)で
ニップル(#50)を緩めます

入手可能パーツ：[ニップル \(#50\)](#)
[専用スパナ \(#66\)](#)



- 16 ニップル(#50)が緩んだら手で回し
ジェネレーター(#152)から取り外します

入手可能パーツ：[ニップル \(#50\)](#)
[ジェネレーター \(#152\)](#)



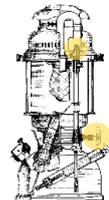
- 17 グリップホイール(#111)の矢印を上向きにして
クリーニングニードル(#68)を出します

入手可能パーツ：[クリーニングニードル \(#68\)](#)
[グリップホイール \(#111\)](#)



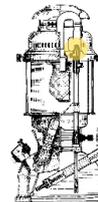
- 18 ニードルキー(#119)を
クリーニングニードル(#68)に差し込みます

入手可能パーツ：[クリーニングニードル \(#68\)](#)
[ニードルキー \(#119\)](#)



- 19 | ニードルキー (#119) のギザギザ部分をつまみながら
クリーニングニードル (#68) に差し込み、
反時計回りに回します

入手可能パーツ: [クリーニングニードル \(#68\)](#)
[ニードルキー \(#119\)](#)



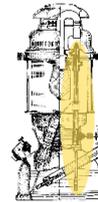
- 20 | クリーニングニードル (#68) が緩んだら手で回し、
ジェネレーター (#152) から取り外します

入手可能パーツ: [クリーニングニードル \(#68\)](#)
[ジェネレーター \(#152\)](#)



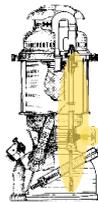
- 21 | ジェネレーター下部 (#153) を固定して
ジェネレーター (#152) を取り外します

入手可能パーツ: [ジェネレーター \(#152\)](#)
[ジェネレーター下部 \(#153\)](#)



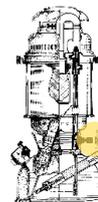
- 22 | ホールエキセントリック (#114) と
ジェネレーター下部 (#153) 接続部の
ホールエキセントリックフィッティング (#107) を
付属の専用スパナ (#66) で取り外します

入手可能パーツ: [専用スパナ \(#66\)](#)
[ホールエキセントリック \(#114\)](#)
[ジェネレーター下部 \(#153\)](#)



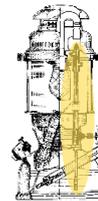
- 23 | ホールエキセントリック (#114) の先端の突起を
傷つけないよう取り外します

入手可能パーツ: [ホールエキセントリック \(#114\)](#)



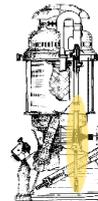
- 24 | コンダクティングロッドコンプリート (#104) を
ジェネレーター下部 (#153) から引き抜きます

入手可能パーツ: [コンダクティングロッドコンプリート \(#104\)](#)
[ジェネレーター下部 \(#153\)](#)



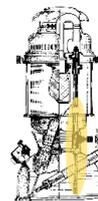
- 25 | タンク (#118) をしっかりと固定しながら
ジェネレーター下部 (#153) を
大きなスパナで緩めます

入手可能パーツ: [ジェネレーター下部 \(#153\)](#)



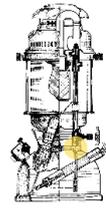
- 26 | ジェネレーター下部 (#153) が緩んだら
手で回しながらタンク (#118) から取り出します

入手可能パーツ: [ジェネレーター下部 \(#153\)](#)



- 27 ジェネレーター下部(#153)にある
鉛パッキン(ガスケット)(#90)を取り外します
※タンク側に鉛パッキン(ガスケット)が残る場合もあります

入手可能パーツ：[鉛パッキン\(ガスケット\)\(#90\)](#)
[ジェネレーター下部\(#153\)](#)



ポイント

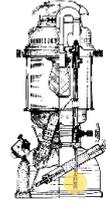
鉛パッキン(ガスケット)(#90)は一度使用すると潰れて
再利用ができません。
組み立て時には新しいパッキンを必ず準備しましょう

入手可能パーツ：[鉛パッキン\(ガスケット\)\(#90\)](#)



- 28 ジェネレーター下部(#153)の一番下にある
ジェネレーターバルブ(#196)を
マイナスドライバーで外します

入手可能パーツ：[ジェネレーター下部\(#153\)](#)
[ジェネレーターバルブ\(#196\)](#)



豆知識

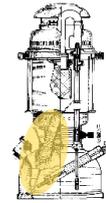
ジェネレーターバルブ(#196)は
3つのパーツで構成されています

入手可能パーツ：[ジェネレーターバルブ\(#196\)](#)



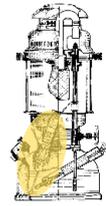
- 29 予熱バーナーレバー(#223)を下に引き下げたら、
予熱バーナー(#226)のフレームチューブ(#220)を
しっかりと握ります

入手可能パーツ：[フレームチューブ\(#220\)](#)
[クイックライター\(予熱バーナー\)\(#226\)](#)



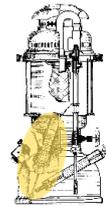
- 30 フレームチューブ(#220)を左右に揺らしながら
少しずつ引き上げます

入手可能パーツ：[フレームチューブ\(#220\)](#)
[クイックライター\(予熱バーナー\)\(#226\)](#)



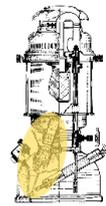
- 31 フレームチューブ(#220)を
予熱バーナー(#226)から完全に取り外します

入手可能パーツ：[フレームチューブ\(#220\)](#)
[クイックライター\(予熱バーナー\)\(#226\)](#)



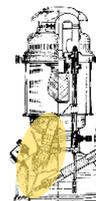
- 32 付属の専用スパナ(#66)で
予熱バーナー(#226)を反時計回りに回します

入手可能パーツ：[専用スパナ\(#66\)](#)
[クイックライター\(予熱バーナー\)\(#226\)](#)



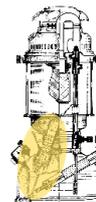
- 33 予熱バーナー(#226)が緩んだら手で回し
タンク(#118)から引き抜きます

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



- 34 予熱バーナー(#226)に付いている
鉛パッキン(ガスケット)(#90)を取り外します
※タンク側に鉛パッキン(ガスケット)が残る場合もあります

入手可能パーツ: [鉛パッキン\(ガスケット\) \(#90\)](#)
[クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



ポイント

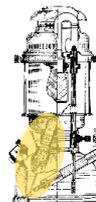
鉛パッキン(ガスケット)(#90)は一度使用すると潰れて
再利用ができません。
組み立て時には新しいパッキンを必ず準備しましょう

入手可能パーツ: [鉛パッキン\(ガスケット\) \(#90\)](#)



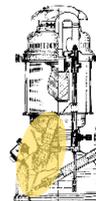
- 35 予熱バーナー(#226)のホース部分を
ペンチで固定しながら反時計回りに回し、取り外します

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



- 36 予熱バーナーノズル(#221)を反時計回りに回し、
予熱バーナー(#226)から外します

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



確認しましょう

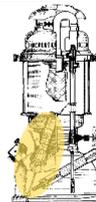
予熱バーナーノズル(#221)が
予熱バーナー(#226)から外れた状態はこちら

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



- 37 予熱バーナー用レバー(#223)を取り外すために
ノズルナット(#222)を緩めます

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



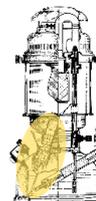
- 38 予熱バーナーコネクター(#224)から
ノズルナット(#222)を外します

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



- 39 予熱バーナー用レバー(#223)を
予熱バーナーコネクター(#224)から外します

入手可能パーツ: [クイックライター \(予熱バーナー\) \(#226\)](#)



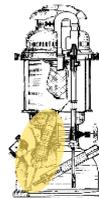
豆知識

ソケット(チェックパッキン&スクリュー)(#229)
上部の溝に付属の掃除針(#180)の
持ち手部分を差し込むと回しやすくなります



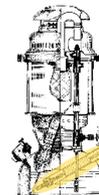
- 40 予熱バーナー用レバー(#223)から
ソケット(チェックパッキン&スクリュー)
を外します

入手可能パーツ: [クイックライター\(予熱バーナー\)\(#226\)](#)
[ソケット\(チェックパッキン&スクリュー\)\(#229\)](#)



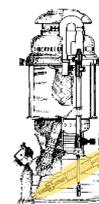
- 41 ポンプキャップ(#42)を反時計回りに回し、
タンク(#118)から取り外します

入手可能パーツ: [ポンプ\(#6\)](#)



- 42 ポンプキャップ(#42)をつまみながら
ポンプ(#6)をタンク(#118)から
引き抜きます

入手可能パーツ: [ポンプ\(#6\)](#)



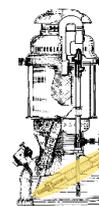
- 43 ポンプ(#6)先端の
ポンプナット(#47)をレンチで外します

入手可能パーツ: [ポンプセット\(#6\)](#)



- 44 革パッキン用ワッシャー+ナット、革パッキン(#46)、
ポンププレート(#45)の順に、
ポンプロッド(#43)から取り外します

入手可能パーツ: [ポンプ\(#6\)](#)
[革パッキン\(#46\)](#)
[革パッキン用ワッシャー+ナット](#)



確認しましょう

革パッキン(#46)が乾燥していないか確認しましょう
※乾燥した状態でポンピングするとタンクへの圧力が正常にかからなくなる場合があります。また、革パッキンの破損の原因になります。
現行モデルには革パッキンの収縮を防ぐワッシャー+ナットが付属しています



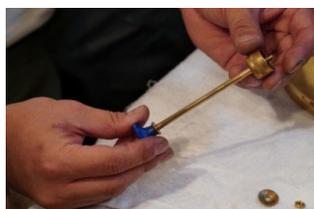
- 45 ポンプロッド(#43)から
ポンプスプリング(#44)を引き抜きます

入手可能パーツ: [ポンプセット\(#6\)](#)
[ポンプバルブ\(#11\)](#)



46 | ポンプロッド(#43)から
ポンプキャップ(#42)を引き抜きます

入手可能パーツ: [ポンプ \(#6\)](#)



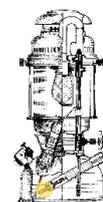
47 | ポンプロッド(#43)からポンプノブ(#40)を反時計回りに
回し、続けてロックスクリュー(#41)を取り外します

入手可能パーツ: [ポンプ \(#6\)](#)



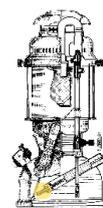
48 | ポンプシリンダー(#98)にマイナスイドライバーを差し込み、
ポンプバルブ(#10)を反時計回りに回します

入手可能パーツ: [ポンプバルブ \(#10\)](#)



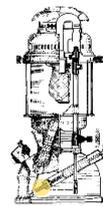
49 | ポンプバルブ(#10)を完全に緩ませたら
タンク(#118)を逆さにして取り出します

入手可能パーツ: [ポンプバルブ \(#10\)](#)



50 | ポンプバルブ(#10)専用の
鉛パッキン(ガスケット)を取り外します
※鉛パッキン(ガスケット)(#90)とは別パーツです。
厚みや大きさが異なるのでご注意ください

入手可能パーツ: [ポンプバルブ \(#10\)](#)



分解完了



分解を終えたらパーツを 綺麗にしましょう！

ペトロマックス専用の
研磨剤（ポリッシュ）で
各パーツを磨いてみましょう

使用商品；
[ポリッシュ](#)

お手入れの
チェック項目

CHECK
01

ヘッドカバー



CHECK
02

サポートフレーム



CHECK
03

タンク

